

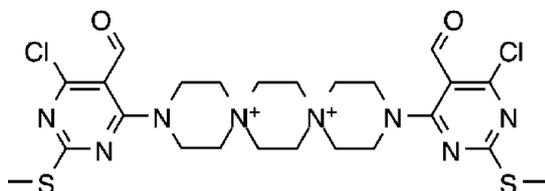
## アドヘサミン水溶液 (Adhesamine)

### お取扱の注意

- ◆本製品は試験研究用の試薬用途としてのみご使用ください。
- ◆本製品は0.2μmフィルターで処理を行っております。
- ◆本製品は-20℃で保管してください。融解後はできるだけ速やかにご使用ください。
- ◆本品の使用、廃棄にあたっては、保護具（保護手袋、保護メガネなど）着用や、眼に入った場合や皮膚に付着した場合はよく水洗するなど、実験室での一般の注意事項を厳守し安全にご留意ください。
- ◆誤って眼に入った場合や皮膚に付着した場合は、よく水洗いするなど応急処置を行い、必要があれば医師の手当などを受けて下さい。

□**化学名** : 3,12-Diaza-6,9-diazoniadispiro[5.2.5.2]hexadecane, 3,12-bis[6-chloro-5-formyl-2-(methylthio)-4-pyrimidinyl]-, chloride (1:2)

□**構造式** :



CAS番号 : 462605-73-8

濃度 : 0.5mg/mlの水溶液

文献 : Journal of the American Chemical Society (2013), 135(30), 11032-11039,  
Biochemical Journal (2010), 427(2), 297-304,  
Chemistry & Biology (Cambridge, MA, United States) (2009), 16(7), 773-782

**□ご使用方法：**

- ① 適切な細胞密度（例： $1.0 \sim 2.0 \times 10^4$  cells/mL）の細胞懸濁液を調製する。
- ② アドヘサミン水溶液を最終濃度に合わせて培養容器（シャーレ／マルチウェルプレート／フラスコ等）にスポットする [推奨するアドヘサミンの最終濃度は、 $25 \sim 100$   $\mu\text{g/mL}$  ( $37.5 \sim 150\mu\text{M}$ ) ]。  
例：24 ウェルプレート（培養液 500  $\mu\text{L}$ ）でアドヘサミンの最終濃度を 50  $\mu\text{g/mL}$  ( $75\mu\text{M}$ ) にする場合は、50  $\mu\text{L}$  の 0.5 mg/mL アドヘサミン水溶液をスポットする。
- ③ 速やかに細胞懸濁液を加え、緩やかに混ぜる。
- ④ 3 ～ 5 時間培養後、細胞の接着・伸展を確認する。

**□ご使用期限：**1年**製造元：**ナガセケムテックス株式会社**販売元：**長瀬産業株式会社 **メディカル事業戦略室**

〒103-8355 東京都中央区日本橋小舟町5-1

Tel: 03-3665-3287 Fax: 03-3665-5400

URL [http://www.nagase.co.jp/shiyaku/shiyaku\\_top\\_page.html](http://www.nagase.co.jp/shiyaku/shiyaku_top_page.html)